



NPO法人
府中かんきょう市民の会会報
2025年夏号7月9日(水)発行
通巻98号
発行人 浅田多津子
編集人 葛西 利武
(府中市市民活動センタープラッツ登録団体)

2025年度 市民ボランティア
調査受託事業

「自然観察たんけん隊」参加者募集

- ①「昆虫」 7月26日(土)
- ②「魚」 8月2日(土) どちらも午前9時～11時30分
- 集合場所 西府文化センター北側出入口
- 対象 市内在住・在学の子どもと保護者
(②は小学3年生以上)
- 定員 それぞれ、先着15組
- 費用 100円/人
- 内容 ①緑地で昆虫観察 ②用水路で魚観察
- 申込み 7月12日(土)までに、住所、氏名(ふりがな)
年齢・学年、電話番号、メールアドレスを記
入し、府中かんきょう市民の会へ
fukannkyou@jcom.zaq.ne.jp
- 問合せ 府中市環境政策課(電話335-4410)



申込み用

 < 昨年写真 >
 ①用水での採捕終了後、
西府文化センター講
堂での観察会
②ミンミンゼミ
③コイ(約8cm)

「西府崖線保全活動チーム」の報告

浅田多津子

「救急・救命講習会」開催

実施日/2025年5月10日(土) 9:30～10:30雨のち曇り
会場/西府文化センター会議室
協力/府中消防署
参加者/小西 竹内 佐藤(智) 大森 浅田 計5名
2025年度の野外活動等がスタートするにあたって、
熱中症予防とその対策含め、心肺蘇生からAED利用
へとスムーズに対応できるよう活動内容を想定しての
講習とした。
府中消防署の3名からお話いただき(消防車内で1
名待機)、資料として「東京版救急受診ガイド」と「命を
救う応急手当」が配布された。時間割は以下。



府中消防署員(後ろ2人)と当会
5人の参加者



昨年(2024.7.10)の様子。中央が
消防署員

9:30～10:00/熱中症の予防と対策について

< 予防 > 帽子・日傘・速乾性のある服の利用、十分な睡眠、朝食を取る、こまめに水分補給(子どもには時間を決めて全員が取ることを確認)、日頃から暑さに慣れておくこと。我慢はせずにクーラーを利用することも必要。

イベント前に書面にて、体調管理を呼び掛けることも必要。具合が悪い方は外れてもらうように促す。
< 対策 > 体をゆるめ深部を冷やすためのグッズとして氷・瞬間冷却パック等、スポーツドリンク・「OS-1」、塩分チャージタブレット等の用意をする。

10:00～10:30/判断に迷った場合は「#7119」を利用し、
救急車の利用へとつながる

♪「もしもしカメよ、カメさんよ！」のリズムで心肺蘇生

活動する場所の住所と目標物を事前に確認しておくこと。指示する人が必要で、周囲の多くの人に援護の呼びかけをする。安全な場所に移動させること。

肩をたたいて呼びかけた後、反応・呼吸が確認できなければ心肺蘇生からAEDを利用。

「もしもしカメよ、カメさんよ！」のリズムで、5センチ以上で胸の1/3が沈むように、真上から両手を組んで押す。最後に、参加者5名からの活発な質問に回答していただき、予防面や細かな諸注意について各々が深められた。

なお、農園塾でも6月6日(金)午前中に12人の参加を得て講習会を開催した。

第1回「Instagram会議」開催

参加者/大森 竹内 浅田 小西 佐藤(智) 福島 計6名
上記「救急・救命講習会」終了後、同会議室にて10:30～11:45まで「第1回Instagram会議」を開催した。講習会のメンバーに福島が加わり、6名となる。

10歳代～40歳代等のSNSを利用する人々に、「西府崖線保全活動」を知ってもらえるツールであることを確認。「SNS掲載マニュアル(案)」を作成する方向で進めるとした。その後、事務局会議でも検討した。



第23回 バス見学会に参加して

大森 吉輝

午前:あきる野市「戸倉しろやまテラス」周辺 ⇒ 午後:春の農産物が豊かな道の駅「八王子滝山」

見学会当日(4月21日)は、快晴で暑くもなく絶好の日和であった。参加人員はやや少なく12名。見学先は、あきるの市にある「戸倉しろやまテラス」。そこは、139年の歴史を持つ戸倉小学校を、「地域と都市間交流」を目的とした施設に改装したものである。この地域の特徴であるジオ展示室や宿泊施設を設け滞在型観光施設として活用をはかっている。敷地内には小学校跡らしく樹齢150年を超えるソメイヨシノや紅葉の大木が植えられていた。

現地講師は青谷知己氏

今回、現地講師をお願いしたのは「秋川流域ジオの会」代表、青谷知己氏。青谷先生は、府中市や当会とも関係が深く、定年まで都立府中高校で教鞭をとられ、「新府中市史」の編集にも携わっておられます。その青谷先生に迎えられて施設に到着。

施設内に入る前に裏側のビオトープを見学。小さな池には丁度、ヤマアカガエルのオタマジャクシが多くかえっていた。時季になるとモリアオガエルも産卵に訪れるということである。自生植物は、府中では見ることの少ない、クマガイソウ、ウラシマソウ、山百合、一輪草、二輪草等が群生しており、自然の豊かさが保全されているのがうかがえた。

この後、3階ジオ展示室に場所を変え、ジオ関係展示物を見ながら青谷先生にこの地域の地層、地形について説明をいただいた。

秋川の北側には、およそ1.4億年前に海溝に溜まってできた秩父帯の岩石が分布。仏像構造線(日本の南西部において北東から南西の方向に連なる断層/写真下)を挟んで南側には、1.1億年~7000万年前に海溝に溜まってできた四万十帯の岩石が分布している。



①「戸倉しろやまテラス」前での記念撮影
②3階ジオ展示室での青谷先生の説明(中央奥)
③講師の青谷知己先生

地球のダイナミックな活動を感じる！

展示物を見ながらこのような説明を受けると、長い年月を経過した地球のダイナミックな活動が、つい最近のこのように身近に感じられる気がしてきた。昼食後は、川原に下り実際の石についての説明を受けた。その帰り道、構造線の断層が向こうの山の窪みからしろやまテラスに走っていることを教えていただき、この地域が複雑な地質・地形を持っていることを増々感じた。また、秋川を少し下ると五日市町層群(1500万年前)という地層があり、ここでは、多くの化石が見つかるということである。

今回の見学会は、青谷先生の懇切丁寧な説明により、この地域の地層・地形について理解を深めるとともに、なぜこの流域が化石の宝庫と言われているのかについても理解を進めることができた。ありがとうございました。帰りは、道の駅「八王子滝山」に立ち寄り、16時前に帰着した。



仏像構造線

それら両帯の岩石が、プレートに押しされ、湾曲し、盛り上がり多摩の山々を形成するとともに、両帯の岩石が入り混じった複雑な地形を形づくってきた。この地域は丁度その中に属しており、それらのことにより秋川流域では、13種類の異なる石が見つけれられるとのことである。

今回は、お二人の
新人が寄稿

新入会員のご紹介

IさんとWさんに誘われて…

横山善彦

IR(投資家向け広報)の仕事をしてきました。環境関連では、企業の「環境報告書」を企画・制作したこともあります。投資家も関心が高く、IRのコンサルタントにも提案する機会があったのです。まだリオサミットの余韻が残っている頃で、企業の開示は不十分でしたが、正面から問題を受け止めようとしていました。

コンサルタントとしてクライアントの信頼を得られるようになった頃、認知症の母の容態が急変しました。介護保険が始まる直前の2000年3月下旬でした。1週間母と暮らしたのですが、24時間目を離せる状況になく、家での介護を断念しました。母は最終的に御殿場の病院に入院し、僕の週二回(水曜日と週末)東京と御殿場を往復する生活が始まりました。

母が亡くなり、年金をもらう歳になり、自分が府中のことをほとんど知らないことに気がきました。府中のことを知ろうと「生活者ネットワーク」の集まりに参加したときIさんに出会い、押立緑地の清掃に参加してみませんか、と声を掛けられました。半年清掃をしていたら、IさんとWさんから「府中かんきょう市民の会」へ誘われました。3人で飲みに行くのが楽しいので入会してみました。



インゲン



農園塾での農作業

「子ども食堂」に提供される…

佐藤加代子

「府中かんきょう市民の会」の「府中農園塾(府中町3-7)」で、友人の区画の一部を借りて畑の作業が出来ること、野菜を育てる機会が持てることに喜んで参加させていただきました次第です。皆さまの幅広い活動に驚き、ただただ頭がさがる思いです。

また、農園塾で収穫された野菜が「子ども食堂」に提供されることも知って、さらに「凄い」と思いました。そして、少しでもその一端が担えることを幸いと存じます。今後ともどうかよろしく願いいたします。

農作業 自然体験学習
子ども食堂 etc.

農園塾「総会」

鈴木 淳佑

日 時 / 4月11日(金) 9:00~10:30
開催場所 / 桶久保公園内 府中町3丁目公会堂
出席者 / 柿本、鴨志田、川崎、倉町、上園、永沼、
山上、吉永、佐藤あつ子、佐藤加代子、
上村、平井、鈴木 計13人
オブザーバー / 浅田、村崎 計2人 合計15人

< 報告内容 >

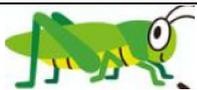
総会は議事案に従って鈴木が司会進行を務めた。例年は農園塾の圃場で簡潔に行っていたが、今期は公会堂内での実施となり、議案一つひとつについて塾生の意見を丁寧に聴きながら進行することができた。会費の集金などもスムーズに対応できた。

また、新たに正会員となった佐藤加代子さんが参加し、佐藤あつ子さんの個人区画を共同で作業するため、Bグ

ープに加入した。

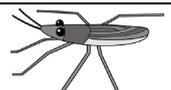
< 総会にて議決された 今期の施策(提言)について >

- ・子ども食堂への野菜提供(継続)
- ・自然体験活動の実施(里芋、大根収穫、一度のみ10月26日予定、参加者15組上限)
- ・応急救護講習の実施(6月6日(金)、11名参加)
- ・夏期において定例会開始時間を早める(その都度柔軟に対応)
- ・収穫分の土壌有機物が減ってしまうため都度残菜堆肥を山から客土すること
- ・水タンクの設置(月一度各自給水)
- ・LINEグループでの連絡網の作成(A班、B班、リーダー)



「四谷小学校」からのお手紙

1学期フィールドワークより



2025年4月、四谷小学校3年生の「多摩川名人」活動として多摩川へ探検に出かけました。子供たちは自然の中でさまざまな発見をし、多摩川沿いの草むらでは、草の陰からひょっこり顔を出したバッタを見付け、「うわっ！動いた！すごい、こんなところにバッタがいるんだ！」と大興奮。さらに、奥まで歩いていると、アメンボがいる池につきました。「見て！かわいいアメンボだよ！」と嬉しそうなお声。

木々の間を歩いていると、見上げた先に大きなクスノキを見付けました。その後「日本一大きな木の幹の太さを確かめよう」とご提案いただき、「本当に？手をつないで

大きさを測ってみよう触ってみよう！」とみんなで手をつないで一つの輪を作りました。子供たちは、幹の太さに驚いている様子でした。また、たくさんの花が咲いた多摩川沿いの草むらでは、何種類もの花を見付けました。「すっごくいい匂い！こんなにたくさんの花があるんだね！」と笑顔が広がりました。

この活動を通して、子供たちは五感を使いながら自然の不思議に触れ、驚きと感動をたくさん味わいました。これからも多摩川の魅力を感じながら、自然を大切にする気持ちを育てていきたいと思えます。

東京農工大学
「昆虫研究会」との協働調査

「春の昆虫生態系調査活動」

ヒョウゴ
原田 彪吾

今夏、7月26日(土)の「自然観察たんけん隊」に先んじての調査で、昆虫「11類・69種」を確認しました。ここでは、そのうちの9点を右に掲載します。なお、「自然観察たんけん隊」の募集記事は1面上部に掲載しております。

日時 5月24日(土) 10:00~12:40

天候 曇り

場所 西府町緑地からハケ上、湧水、ハケ下、エレベーター下、ハケ上まで一周

参加者 ○当会3人ー小西信生 佐藤智恵子 浅田多津子
○東京農工大学 昆虫研究会 1人+OB2人 計3人
小池尊琉(コイケタクル) OB加賀美智也(カガミトモヤ)
OB原田彪吾(大学院/先進学際科学府 先進学際科学専攻1年 食料・環境コース) 合計6人



トホシテントウ



クビキリギス

(写真提供 浅田)



ナミクチキムシ



ナナフシモドキ



ルリマルノミハムシ



クロヤマアリ(オス)



アカサシガメ



ルリチュウレンシ



ヒバカリ

今まで無視していた虫が
面白い生態をしていると世界が広がる！

本年も調査活動に参加させていただきました「東京農工大学昆虫研究会OB」の原田彪吾です。私は小学生のころから昆虫が好きで、観察や採集を続けてきましたが、それが転じて今では毎年「府中かんきょう市民の会」との生物調査へ参加させていただいております。

今回は昆虫の分類に詳しいメンバーが参加していたこともあり、観察された昆虫種を昨年よりも正確に記録することができました。ちなみに、その記録はA4判3ページにわたり、「11類69種」としてまとめました。

私自身、名前の知らない昆虫や同定の難しい昆虫がまだまだたくさんあり、分類には詳しくないため日々学び続けています。こうした昆虫を覚え、その生態を知ることが調査に役立つだけでなく、日ごろ目にする「虫」への

印象が変わります。今まで気にも留めていなかった小さい虫にも名前がついており、面白い生態をしていることを知ると、途端に世界が広がります。その結果昆虫をより身近な存在に感じることができます。

今回見られたトホシテントウやクビキリギスなども、実は意外と身近な昆虫であることに気付けると思います。7月26日の観察会では、参加者に昆虫の名前や生態を少しでも多く覚えてもらえるように、そして日常で出会う昆虫の面白さに気付いてもらえるように活動できたらと思っています。

花壇 2景

押立町緑地花壇

渡部敏郎

最近清掃していると、以前なかった我々に対しての声かけ「いつもご苦労さん！」「お世話になってます！」との声があるようになってきました。花壇での作業をしていると、その周りに来て「楽しみに待っていますよ！」「花がきれいになるのはいいことですね！」「チューリップの球根の定植が少し遅いのではないかな？(かなり草花に詳しい人)」「この中央には何を植えてますか？(球根から芽が出ていない頃)」「この花は何ですか？(金魚草を見て)」などの声かけがあります。

当初、声かけしてくれる人は、押立町緑地内を日常の買い物の通路にしている人が多かったのですが、最近では野村マンションの人達から、また温室のところにいると「挿し木のやり方を教えて欲しい」との話があったりしました。皆さん、花に関心が高いことが分かります。同時に我々のボランティア活動への、大きなモチベーションになっています。



押立町緑地花壇=㊸㊸都市緑化基金の看板

西府町緑地花壇



西府町緑地花壇では、マリーゴールドの丸い形をもじって花壇も丸くしました。公園緑地課から支給されました花苗を使用しています。

押立町緑地花壇は、「東京都都市緑化基金」の助成を受けています。右は、その看板の拡大写真です。西府町の第五小脇にも、もう一か所あります。



(株)第一造園 公園緑地課 との協働

樹木の剪定・整枝講習会

葛西利武

マンツーマン方式での贅沢な講習会

第4回剪定・整枝講習会が、令和7年3月26日(水) 9:00～10:30に西府崖線で開催されました。天候は25度近くのほぼ夏日。実施場所は日新町1丁目の第二都市遊歩道。近くにはカッパ池もあります。

そこで、サザンカとツバキの剪定・整枝作業が行われました。時間割は前半が講習、後半は実技です。最後に講師より講評をうけて無事終了しました。

参加者は会員5人(浅田 葛西、竹内、田中、倉町)と一般参加者6人。第一造園からは講師3人、補助3人の合計17人です。講師1人に受講生が2人という、ほとんどマンツーマン方式での贅沢な講習会となりました。皆さん、大いに満足されて帰途につきました。

参加者の感想文

①<柔らかに仕上げで…>

広報ふちゅうに「プロに教わるチャンスあり！」と迷わず申し込み、幸い学ぶ機会をいただき夫婦で参加いたしました。とにかく楽しかったです。一から丁寧に教えてくださり、目からうろこ、納得すること多々あり。「柔らかに仕上げられるように」という言葉が印象的でした。教わったことを生かして、周りの木々と一緒にこれからも元気に柔らかに生きていければと楽しみです。(小林敏文、俊子ご夫妻)

②<2～3年後の樹形を見たい…。剪定樹枝の片付けもしたかった>

植木職人さんの使用している剪定ハサミは切れ味が凄く、木の負荷を最小にするため切る角度を考えてハサミを入れて作業するのを見て、さすがプロの仕業と感心させられました。また、枝の生育を想定して将来の樹形をイメージしながらハサミを入れるプロの技を見、説明を聞いて

納得・感心の時間を過ごせました。終了後の剪定樹枝は職人さんが片づけましたが、一緒に剪定樹枝の片付けまでしたかったです。2年あるいは3年後の姿を見てみたい気持ちになりました。(鈴木賢司)



第一造園講師(中央奥)から、本日の作業工程等の説明



剪定作業中

NPO法人 府中かんきょう市民の会

2025年度「総会」報告

葛西利武



2025年度総会

2025年度「総会」等が、4月9日(水)中央文化センター第2講堂で開催されました。時間は13:00～16:20です。出席数18人、委任状16人の計34人の参加をえて以下の審議が行われ、すべて承認されました。

なお、総会時点での会員数は、正会員39人、賛助会員17人、休会中3人の計59人です。総会終了後には4月定例会も行われ、新入会員3人の紹介もありました。

☆

- 第1号議案 2024年度活動報告
- 第2号議案 収支報告書(決算)
- 第3号議案 (1) 事業報告書 (2) 活動計算書
- (3) 貸借対照表 (4) 財産目録
- 第4号議案 2025年度活動計画
- 第5号議案 2025年度収支計算書(予算)

<事務局員(兼グループリーダー)等の人事案件も承認>

- | | |
|-----------|-----------|
| 浅田多津子 理事長 | 鈴木淳佑 事務局員 |
| 村崎啓二 事務局員 | 佐藤智恵子 〃 |
| 西宮幸一 事務局員 | |
| 高橋和夫 〃 | 会計監査 前川浩子 |
| 金田邦男 〃 | 佐藤智恵子 |

農園塾／2024年度「子ども食堂」提供実績及び2025計画

鈴木淳佑

2024年度「子ども食堂」提供実績		
2024提供日	2024提供野菜	
2024年	4月19日	のらぼう菜、キヌサヤ・スナップ、サニーレタスタけのこ(会員提供)
	4月26日	キヌサヤ・スナップ
	5月24日	玉葱 春大根・分結ねぎ(会員提供)
	6月21日	じゃがいも、枝豆 インゲン、オカワカメ(会員提供)
	7月19日	モロヘイヤ、 ミニトマト・なす・ピーマン(会員提供)
	8月2日	枝豆 バターナッツ(会員提供)
	8月23日	モロヘイヤ、 ゴーヤ・バターナッツ(会員提供)
	9月20日	(ぼっちゃん南瓜予定) 辞退
	10月25日	さつま芋・ぼっちゃん南瓜
	11月22日	大根・里芋・京芋、人参
	12月20日	ヤーコン・大根・ホウレンソウ
2025年	1月24日	ミニ白菜・ホウレンソウ・大根 人参(会員提供)
	2月21日	分結ネギ、ホウレンソウ、 インゲンサイ(会員提供)
	3月21日	のらぼう菜

「子ども食堂」との連携 2025年度計画(案)

2025年度の計画としては、自然相手の難しい問題がありますので、「春夏秋冬」と大まかな区分をいたします。
 <春>のらぼう菜、キヌサヤ、スナップ、タマネギ、春ダイコン等
 <夏>ジャガイモ、エダマメ、オカワカメ、モロヘイヤ、ミニトマト、ゴーヤ等
 <秋>ぼっちゃん南瓜、バターナッツ、シュンギク、サトイモイコン、ニンジン等
 <冬>ヤーコン、ホウレンソウ、ダイコン、ネギ等

「子ども食堂」からの報告

- たくさんお野菜ありがとうございました。おかげさまで、たくさんいろいろな料理に使いました。タマネギはたくさん皮がでたので、タマネギ染めをしました。(5月)
- コロッケや焼浸しにしたところ、子どもたちがお代わりをしてくれました。人気だったのがおかわかめ、食べたことがない子が多く、おいしいと言っていました。(6月)
- 夏野菜モリモリメニューができました。(7月)
- ジャガイモとインゲンのベーコン炒め、マスタード味にしました。モロヘイヤはスープにしましたが、こどもたちお代わりしていました。(8月)
- ハロウィンなのでカボチャ嬉しいです。カボチャとサツマイモ美味しくいただきました。(10月)
- すごくおいしい芋煮になりました。山形芋煮汁と仙台芋煮汁です。(11月)
- 野菜が信じられないくらい高騰していて助かります。皆さんに喜んでいただけました。白菜のアンチョビ炒め、大根おろし、雑煮汁、五目卵焼きにしました。(1月)



④片町2丁目 片町公会堂内「子ども食堂」
 ⑤食事でくつろぐ子どもたち